Cyber Security News

R6．5

あなたの会社の ホームページは大丈夫ですか？

ホームページは気付かぬうちに改ざんされることがあります。改ざんされると、その事業者だけでなく、利用者、顧客にも被害が及びます。

ホームページ改ざんによる被害（内容を改ざんされるだけじゃない！）

○ 内容の改ざん
本来と違う内容が表示される

○ 詐欺サイトへリダイレクト
アクセスユーザーが強制的に詐欺サイトへ転送される

○ 個人情報の漏えい
入力フォームなどが改ざんされ、入力情報が 盗まれる

○ 検索結果に知らないページを表示
検索サイトで自社ドメインを入力して検索すると、自社と関係のないページが検索結果に表示される

○ マルウェア感染
アクセスユーザーもマルウェアに感染させられる

県下でも、ホームページ改ざんによる被害が発生しています。

県下での被害
「検索結果に知らないページを表示」
「個人情報の漏えい」

原因はコレ！

その１ 古いホームページ作成ツールをそのまま使用
過去に、パソコンに詳しい職員にホームページを作成してもらい、その後は内容の更新のみで、ツールの更新は実施していなかった(ツールのバージョンが数年前のものであった)。

その２ 保守点検が契約に含まれていると誤信
業者に依頼しホームページを作成したものの、保守点検が契約に含まれておらず、ツールの更新がされずに放置されていた（作成時、使用されたツールにぜい弱性は発見されていなかった）。

定期的に点検していますか？ ～安全性向上のための対策～

ホームページを安全に運用するために、次に掲げる対策を講じましょう。

○ 管理者のＩＤ・パスワードの適切な管理
初期のパスワードのままになっていませんか？推測されやすいパスワードではないですか？パスワードは定期的に変更しながら管理しましょう。

○ OSやソフトウェアのぜい弱性情報の確認、最新のパッチ等の適用
無料のホームページ作成ツールもありますが、古いツールにはぜい弱性が多く存在します。作成した後は、定期的に保守点検を実施しましょう。

○ ＷＡＦ等のセキュリティ機能の活用
WAF （Web Application Firewall）というホームページの情報等が置かれているWebサーバ用のセキュリティソフトもあります。この様なソフトも活用し、セキュリティを強化しましょう。

<< 「Cyber Security News」 >>
県警ホームページには過去の「Cyber Security News」を掲示していますので、参考にしてください。
県警ホームページ「Cyber Security News」

和歌山県警察本部サイバー犯罪対策課